

真っ向勝負！ 八朔牛突き大会

総合誌

おきのしま
隠岐の島



OKINOSHIMA TOWN PUBLIC INFORMATION

◆人口 17,015(+13)人 男 8,071(+5)人 女 8,944(+8)人 世帯数 7,368(+8)戸

(平成18年9月1日現在、カッコ内は前月比)

● ジェット機今年最後のフライト

隠岐と本土を結ぶ新たな架け橋 今年最後のフライト

7月6日の新空港開港と同時にスタートし、快適な隠岐の旅を演出したジェット機路線。約2ヶ月間の就航期間を無事に終え、8月31日にはさよならセレモニーが行われました。



「おつかれさま」 最終便のスタッフに花束贈呈

抜けるような青空が広がった8月31日（木）、7月6日から約2ヶ月間にわたって就航したジェット機MD-81（163人乗り）は、この日が最後のフライトとなりました。

最終日の到着便が滑走路に着陸したのは正午過ぎ。最終日にも関わらず、この日も大勢の乗客が次々とタラップを降りる姿が見られました。

折り返し大阪へ出発する前、ジェット機の機長とキャビンアテンダント（客室乗務員）に花束が贈呈され、2ヶ月間のフライトの労をねぎらいました。



機長とキャビンアテンダントへの花束贈呈



9月からはこのプロペラ機Q-400（74人乗り）が主役です

名力士目指して勇往邁進

ゆうおうまいしん

現在、島根県出身力士5名のうち、隠岐の島町出身が2名、共に八角部屋に入門し、角界で奮闘しています。みなさんもご存知の「福岡」と「竹谷」の両名です。（両名とも港町出身）

「福岡」（本名・福岡歩）は、平成17年の1月に入門、三月場所所でデビューし、以来平成18年五月場所までの8場所を連続勝ち越しし、番付を幕下まで伸ばしました。惜しくも平成18年七



福岡

月場所、連続勝ち越しの記録更新は止まりましたが、現役の島根県出身力士では、最上位の番付となっています。

「竹谷」（本名・竹谷和也）は、平成18年の3月に入門、五月場所所でデビューし、五月・七月場所と二場所連続して勝ち越しています。現在の番付は序二段、兄弟子に対する負けじ魂を発揮し、まだまだ記録を伸ばしてくれることと思います。



竹谷



8月には両力士とも里帰り、日頃の稽古の疲れを癒しました。そんな中、両力士こそって母校・隠岐水産高校を訪れ、後輩たちに胸を貸しました。インターハイを間近に控えた後輩たちに、熱のこもった稽古をつけ、相撲部員を激励しました。

昨年20歳を迎えた「福岡」は、今年8月15日の成人式には出席できなかったものの、新成人として気分を新たに精進してもらいたいのです。8月21日には、隠岐の島町役場を訪れ、町長と対談し、普段の食事や日常生活、稽古のことなどを話してくれました。「ライバル、この人には負けたくないという人はいる？」という質問には、「みんなライバルで、誰にも負けたくないです。」と答え、今後の意気込みが見ら

れました。二人ともに、九月場所でも大活躍し、勝ち越しており、来場所は更に番付を上げていきます。十両・幕内になる日もそう遠くないかもしれません。

◎両力士から一言

「皆さんの期待に応えられるよう頑張ります。」と福岡、「福岡を始めとする」先輩方に追いつけるよう頑張ります。」と竹谷、両力士からの力強い言葉に今後の期待も高まります。

頑張れ、隠岐の島の郷土力士



隠岐の島 NEWS FLASH



日本の情緒と郷愁を歌い上げました。

相撲祭の千秋楽 各地の甚句を堪能

8/26

8月26日(土)、隠岐島文化会館大ホールで、隠岐相撲祭の最後を飾る『甚句祭隠岐大会』が開催されました。

触れ太鼓から始まり、『隠岐古典相撲』の力士による土俵入りが行われた後、関東、関西、山陰の各地から集った相撲甚句会8団体が、日本の情緒と哀愁たどよう相撲甚句を披露しました。

相撲甚句の歴史は古く、約270年前の享保年間に始まり、江戸末期〜明治にかけて流行しました。お座敷で覚えた唄を、力士が地方巡業で唄ったのが始まりといわれています。三味線や太鼓の伴奏もなく、手拍子の音頭に合わせて「ドスコイ、ドスコイ」という、合の手“だけの素朴な唄で、相撲独特の情緒を醸し出すものです。

相撲甚句教室では、町内の4名の方がステージに上がりゲストの国錦耕次郎氏(財)・日本相撲協会教習所講師によるわかりやすく、ユーモアあふれる指導を仰ぎました。

最後に、参加者全員で名曲「当地興行」を合唱し、この夏、多彩な行事で島を沸かせた相撲祭に幕を引きました。

野球少年の熱い夏 ござんせカップ

8/25 27

8月25日(金)・8月27日(日)の2日間、学童交流軟式野球大会「ござん



島内外から178名の野球少年たちが結集!

8月25日のトーナメント予選を経て、27日は、総合グラウンドで準決勝と決勝、また、3学校の校庭で交流試合が行われました。どの会場でも子どもたちの熱戦が繰り広げられ、元気な声が響いていました。

また、中日の8月26日には、福浦海水浴場で海遊びの交流会があり、マリネレジャーやバーベキューなど、この日は戦いを忘れて、親睦を深めました。

歌って撃退! 悪徳商法

8/29

隠岐の島町でも近年、高齢者を狙った催眠商法・点検商法の被害が増加しています。このような悪質化する高齢者被害を防ごうと、地域の関係機関や団体により「隠岐の島町高齢消費者被害未然防止ネットワーク協議会」が設立され、8月29日(火)隠岐の島町ふれあいセンターでその第1回目の事業として、悪徳商法防止についての研修会が行われました。

まず、「悪徳商法の被害者にならないために」と題し、消費生活アドバイザーの橋本貴美子さん(町内在住)による講演がありました。悪徳商法の手口や隠岐における被害の実態を示し、被害者にならないための対処法について、



息のあった演奏を聴かせてくれた2人

非常に明快に説明がなされると、参加者はしきりにメモをとっていました。

講演の後、「悪徳商法に負けないための替え歌作戦」と題し、町内のバンド「フリコムーナ」(広江政仁氏&永田明広氏)によるとユニークなミニコンサートが行われました。2人の作詞による「催眠商法備え歌」(「心の花」の替え歌)、「悪徳商法被害防止小唄」(「お座敷小唄」の替え歌)が演奏されると、参加者から手拍子がおこり、一体感あふれる楽しい研修会となりました。ちなみに、このバンド「フリコムーナ」は、要請があればどこにでも出かけて演奏してくれるそうです。

コウノトリの 共存をめざして

9/4

国の天然記念物に指定され、国内で4羽しか確認されていない野生のコウノトリが、昨年10月に五箇に飛来して1年が経とうとしています。これまで、五箇では毎年恒例のサマーフェスタ(花火大会)を中止するなど、コウノトリの滞在(定住?)に配慮してきました。

そんな中、9月4日(月)、五箇生涯学習センターで、コウノトリの生息環境とその保全“と題した講演会が開催されました。

講師は、長年にわたりコウノトリの保護・増殖に取り組んでいる、兵庫県立コウノトリの郷公園“の大迫義人主任

研究員で、コウノトリの生態や、同公園で行っている増殖や野生化への取り組みなどについて説明がありました。

「コウノトリの住みやすい環境を作ってあげるのではなく、人間の住みやすい環境を作ることが、コウノトリの住みやすい環境につながる」とのこと、人と自然の共生できる環境づくりに向けて大きなヒントとなりそうです。



人と自然が共生できる環境づくりを!

6オクターブの歌声 Allie(アリー)ライブ

9/8

9月8日(金)、隠岐島文化会館大ホールで人権啓発コンサートが開催されました。最初に隠岐の島町企画財政課長より、今年3月に策定された「隠岐

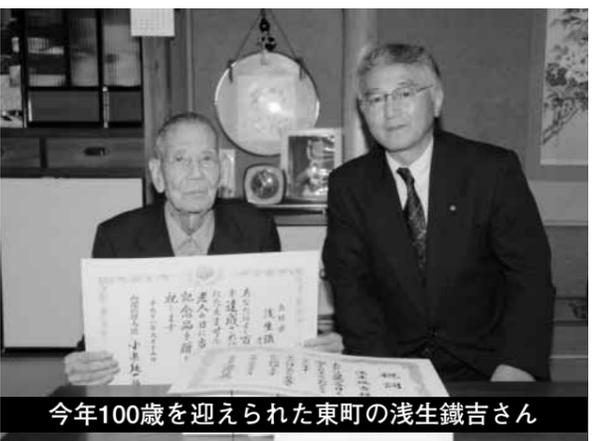


Allieさんの熱唱に感動

の島町人権施策推進基本方針”について、その要旨が説明されると、来場者の皆さんは真剣な面持ちで聞き入っていました。

その後、約1時間10分にわたって合計13曲をパワフルに且つ繊細に歌い上げたのが、アーティストのAllieさん。この日集まった約200名の誰もが、その素晴らしい歌声に圧倒され、感動に酔いしれました。

Allieさんは、東京生まれの20歳。幼少の頃から歌を歌う事が好きで、作曲家、指揮者である曾祖父のコンサートにて3歳の時に初舞台を踏んだそうです。声域は6オクターブということで、今回のライブでも、その実力を余すことなく披露してくれました。ポピュラスを中心に、とても20歳とは思えない堂々



今年100歳を迎えられた東町の浅生鐵吉さん

とした伸びのある歌声で情熱的にパフォーマンスしてくれたAllieさん。これからの益々の活躍を期待し、隠岐からも応援しましょう。

長寿を祝って 記念品を贈呈

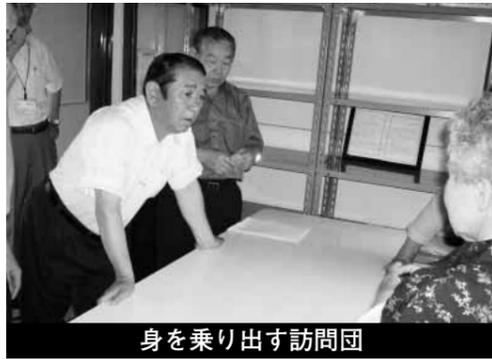
9/12

敬老の日を間近に迎えた9月12日(火)、今年100歳を迎えられた方と町内最高齢の106歳の方併せて9名に、祝状と記念品が贈呈されました。

記念品は、隠岐の島町、島根県、総理大臣からそれぞれ贈られ、町長と隠岐保健所長が、高齢者の方を訪問して手渡しました。これからも、私たちの大先輩として、町の成長を見守っていただく下さい。

中村地区 須坂市議会「おふくろの里」へ

8月21日(月)、長野県須坂市議会「政和会」から5名の議員の方が中村を訪れました。一行の目的は「おふくろの里」を訪問することであり、高齢化・過疎化の進む地域で、いきいきと活躍する姿に非常に興味を持たれたようです。須坂市から中村まで10時間以上かかります。午前10時から休むまもなく12時まで活動内容や、事業手法など熱心に意見交換をしていました。説明を引き受けてくださっ



身を乗り出す訪問団



施設も見ました

た「おふくろの里」のメンバー(藤野さん・細井さん)は、突然の訪問にも緊張の様子はなく、活動内容や課題の克服などを話す姿に、新たな意欲が伺えました。「おふくろの里」の位置付けを説明するために、中村地域の企画ビジョンも併せて説明し、少しは須坂市のお手伝いのできたのではと思います。

布施地区 ソフトテニス スポンジテニス大会

9月10日(日)、国民保養センターテニスコート、布施小中学校体育館の2会場において布施地区親善ソフトテニス・スポンジテニス大会が行われました。ソフトテニスには中学生、一般の方合わせて30名ほどで、団体戦、個人戦で試合を行いました。一般の皆さんも必死で、中学生に負けるものかと、昔の感覚を思い出しながら足元がふらふらになるまで頑張っていました。



また、スポンジテニスは小学生が中心となり、慣れないラケットを手にお互い声を掛け合いながら楽しくプレーしていました。今後の名選手の出現に期待大です。あいにくの天気でしたが、子ども達と一緒に汗を流した楽しい一日となりました。翌日からは体が痛く大変な日が続くかな?

五箇地区 「夏休みお天気教室」で勉強しました



パネル展示の様子

8月26日(土)、五箇生涯学習センターで「夏休みお天気教室」が開かれました。これは西郷測候所が小学生・中学生を対象に開催したもので、気象に関するパネル展示やファンを使い竜巻を作る実験、またペットボトルで雪の結晶をつくる実験などが行われ、子供たちの関心を集めていました。中でも特別展示「ミニ南極展」のコーナーは、実際の南極の氷を見たり、触ったり、越冬隊員の防寒具



「ミニ南極展」で展示された南極の氷

の展示や生活状況のパネル展示、南極の動物の状態やオーロラに関するパネルなどが展示され、いながらにして南極の勉強が出来るまたとない機会となりました。隠岐の気象について測候所の職員の方に質問する人や熱心にメモをとる人もあり、「風向風速計」を自分で作れるコーナーでは、指導を受けながら一生懸命に取り組む子供たちの姿もみられました。

都万地区 二宮金次郎像引越



8月27日(日)、二宮尊徳(金次郎)像が役場都万支所から都万小学校へ引越しをしました。この像は、昭和に入ってから郷土教育・報徳教育が盛んになったことを受け、昭和14年、都万尋常小学校に建設されました。(現在の像は昭和33年に復元されたものです。)都万小学校の移転により児童の元気な声が聞けなくなっ



身長100cm、体重40kg
趣味：読書、特技：親孝行

て23年余りが経ちましたが、この度、夏休みの奉仕作業に合わせ都万小学校の先生やPTAの方々の協力のもと無事に引越しを終えることができました。これからの読書の傍ら、都万っ子の成長を見守り続けてくれることでしょう。

バスケット「JALラビッツ」来島

8月5日・6日、小学生ミニバスケットの交流大会、第2回フジスポカップが隠岐の島町総合体育館「レインボーアリーナ」で盛大に行われました。

隠岐の子ども達にも経験を・・・離島のハンディを克服するために・・・そんな願いのもとに4年前から交流大会を開催していますが、今年は特に隠岐空港ジェット機就航記念として、日本航空女子バスケットボール部「JALラビッツ」を迎え、島外（山口県・鳥取県・松江市の）10チーム・島内（島前含む）5チームの男女計15チーム、選手・スタッフ・保護者を含めて、総勢500名が2日間にわたり熱戦を繰り広げました。

JALラビッツには“バスケットボール教室”“フリースローラビッツに挑戦!”“サイン会”等のイベントで大会を盛り上げて頂き、とてもいい夏の思い出を作ることができました。

子ども達がバスケットボールを通して、素晴らしい出会いが出来るよう、様々な願い・夢・希望を胸に、隠岐の島町のミニバスケットボール関係スタッフは、パワー全開です!



TEL 08512-2-2206
Mail okidogo@mx.miracle.ne.jp

今年も夏休みの期間を利用し、中学2年生を中心に、町内55カ所の事業所で職場体験活動が実施されました。

【ねらい】

- 郷土の産業に触れ、自らの進路への関心を高め、将来の生き方について自発的に取り組んでいこうとする意欲を高める。
- 職場実習を通して職業観や勤労観を培い、郷土産業への興味関心を高める。

生徒は、日程や職種、体験内容などを参考にして事業所を選択し、2日間の実際の職場体験活動に臨みました。



中学生の職場体験活動

学校を離れ、一人で社会の中に入り、生徒が自らの将来について考える貴重な機会であると考えています。実施日数や職種の選択など、検討課題もありますが、地域・事業所の皆様には、職場体験活動の趣旨にご理解をいただき、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

【生徒の感想より】

僕は、8月3日から4日の2日間、都万郵便局で職場体験学習をしました。そこでは、はんこ押しやポストを回る仕事、手紙の仕分けや荷物を配る仕事をしました。都万郵便局に行って分かったことは、都万から那久のポストを一人で回っていることや午前中の仕事でいっぱい動いて大変だとゆうことです。大人は、毎日大変な仕事をやっていることが勉強になりました。郵便局の仕事の中で、はんこ押しは少し疲れていたけど、すごく楽しくやる事が出来ました。郵便局の人は、とても優しく仕事を教えてくれました。荷物配りの時でも、地域の人に、友達のように声を掛けていました。名前を聞いただけで、家が何処にあるかとか、その人がどんな人なのかを知っています。と思いました。都万郵便局でいろいろな仕事が体験出来て良かったです。ありがとうございました。

町の元気印 第6回 金井春子さん



今回の元気印は、大久地区で地域福祉のリーダーとして活躍している金井春子さん。住み慣れた我がとこ（ふるさと）で自立した生活を楽しみながら安心して生きたいと願うのは当然のこと。そこで大久地区では平成9年友愛会（大久ふれあい活動推進委員会）が結成されました。活動の中心は毎週1回の給食サービス（平成2年より）と月1回の会食サービス。家でとれた野菜、浜でとれた魚介類を中心に正に旬の食材を使った、心のこもったあったかい料理が届けられます。また、平成16年から始まった「ふれあいサロン」では、保育所園児も一緒になり、みんなで昼食を食べながら、和やかな語らいの場が設けられています。「お互い誰かの役に立つことを考え、みんなで活動すれば、ひとりでは出来ないことが可能になります。思いやりのある地域にするためには、多くの人が福祉への理解を深め福祉活動に参加することが大切」と金井さん。

金井さんをはじめ、大久の方々の郷土愛と、思いやりの心がこのような素晴らしい活動につながっているのだと思います。今後も強いリーダーシップに期待します。がんばれ金井さん!

としよかん

隠岐の島町立図書館
電話 08512-2-2341
FAX 08512-2-9198
メール s-tosho@mx.miracle.ne.jp
開館時間 10時～18時
最終金曜日は14時開館
閉館日 (月曜日・第3日曜日・祝日)
祝日が月曜、第3日曜と重なった場合は翌日も閉館

「しまね子ども読書フェスティバル in 隠岐の島町」を開催します

このたび、「しまね子ども読書フェスティバル」が開催されることになりました。これは、島根県内すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動ができるように関係機関、関係団体と連携協力し、子ども読書活動を推進するというねらいで行われる事業です。今年度は隠岐の島町図書館で10月末より約1週間、各催しものが開催されます。

8月に第1回、第2回の実行委員会を開き、委員の皆様からたくさん貴重なご意見を頂き、その内容がほぼ決定致しましたので、現在実施予定のものについてお知らせ致します。

- 10月23日(月) 19:00～20:30 まちづくりと図書館
- 10月24日(火) 10:00～12:00 学校図書館担当者研修会
- 10月28日(土) 14:00～15:00 幼児読書研修会
- 10月28日(土) 16:00～17:00 ブックスタート研修会
- 10月29日(日) 10:00～11:30 親子で創るMY絵本と読み聞かせ
- 10月29日(日) 13:00～14:30 工藤直子先生講演会(予定)
- 10月29日(日) 15:00～16:30 お父さん、お母さんのための読み聞かせ講座

興味のある方ならどなたでも参加できます。たくさんの方のご参加お待ちしております。

子どもの心を発達させる読書

子どもにとって読書はなぜいいのか? 読書は、単に言葉を理解したり、読解力をつけたりするためのものではありません。本を読むことで、子ども達は言葉を知り、人とのコミュニケーションを図る能力を発達させていきます。また、純粋な心をもった子ども達は、物語を読むことで登場人物になりきって、物語という現実にはありえない世界の中で自由にイメージを広げ、遊びます。そして自然と想像力を育み、心を発達させていくのです。

小学校低学年くらいまでの子どもは、一人読みをするときを読むことに必死になり、物語の世界で遊ぶことがなかなかできません。ですからできればそばにいる大人が読み聞かせてあげることをおすすめします。

図書館の子ども読書への取組みは

隠岐の島町図書館では平成11年の開館以来、季節の行事、親と子の読書普及事業、定期行事の読み聞かせの会など行い、子どもたちの読書普及に努めてまいりました。総勢20名のボランティアの方々による、学校訪問の絵本の読み聞かせやブックトーク等も定着してきています。

今後、さらに、隠岐の子ども達が本を好きになり、心豊かに育っていくことを願って、これからも楽しい本との出会いの場を提供していきたいと思っております。

文化財写真展・卒業証書展・神楽公演 in 佐々木家

入館料 大人400円 小人200円
■会場 重要文化財佐々木家住宅 (隠岐の島町釜)

①卒業証書展

開催期日 平成18年10月11日～10月30日
内容 大正末期から昭和初期にかけてのもので佐々木家に遺存する、小学校・中学校の各学年ごとの修業証書・卒業証書等の展示を行います。

②旧周吉郡東郷神楽公演～佐々木家住宅に神楽の舞再び～

開催期日 平成18年10月22日(日) 午後1時から
演目 未定(一番立て、随神、鹿島、愛宕等から3演目の予定)

③隠岐の島町文化財展(国・県指定)

開催期日 平成18年11月1日～11月29日
内容 隠岐の島町に所在する国・県指定文化財の写真解説付きで展示します。

④隠岐の島町文化財展(町指定)

開催期日 平成19年3月中予定
内容 隠岐の島町に所在する町指定文化財の写真を解説付きで展示します。

お問い合わせ

隠岐の島町教育委員会生涯学習課文化振興係
電話08512-2-2126 FAX08512-2-0619
e-mail:kyouiku-syougaku@town.okinoshima.shimane.jp



隠岐の島町ごみ減量等優良事業所 認定証を交付

隠岐の島町では、事業所から出るごみの減量化対策の一つとして、一般廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用等に積極的に取り組む事業所を対象にした「隠岐の島町ごみ減量等優良事業所認定制度」を今年6月に創設しました。

8月28日、その第1回認定証交付式が役場で行われ、隠岐の島町商工会・(株)カーテックス一畑隠岐工場・(有)魚清・中国電力(株)隠岐営業所の4事業所が認定されました。

取り組みの紹介

各事業所が、実際にどんな取り組みを行っているのかご紹介します。



ミスコピー用紙等をメモ用紙に利用

三 その他の活動
・事務所周辺にポイ捨てごみがないよう、業務開始前の積極的な清掃活動の実施
・事務用品、OA機器等の故障や破損に対して、積極的に修理を行う。

●カーテックス一畑隠岐工場

一 ごみを発生させない取り組み
・伝言やメモ等は事務所内にある黒板を使用し、紙ごみが発生しないよう努めている。

二 ごみを減らす取り組み
・新聞紙や両面印刷した用紙等は、部品発送時の梱包材に利用
・片面印刷コピー用紙(FAX送信済用紙等)の裏面をコピー用紙として再使用している。



使用済の紙等は部品発送時の梱包材として利用

三 再生品の利用促進
・コピー用紙、プリンターカートリッジ、トイレットペーパー等、再生品の利用に努めている。

四 従業員への環境教育の実施

・ゴミの排出量を事務所内掲示板に毎月掲げ、従業員に周知している。

(株)カーテックス一畑隠岐工場
所在地 隠岐の島町城北町655番地
電話 2-2511



隠岐の島町商工会
所在地 隠岐の島町中町目貫2-54-1
電話 2-1157



●隠岐の島町商工会

一 ごみを発生させない取り組み
・資料のペーパーレス化(社外↓電子メール、社内↓回覧化)
二 ごみを減らす取り組み
・ミスコピー用紙の裏面の利用推進(メモ用紙、ファックスの受信用紙)

三 再生品の利用促進

五 その他の活動
・ISOへの取り組みの一環として、毎月のごみ排出量への削減数値の目標を定めている。

四 再生品の利用促進
・グリーンマーク事務用紙を積極的に購入している。
・コピートナーのリサイクル使用

五 従業員への環境教育の実施

・研修会を年1回以上実施し、社員に対して、ごみの再資源化等についての教育を行っている。
六 その他の活動
・環境保全活動(通勤路清掃、海岸清掃等)を実施している。

中国電力(株)隠岐営業所
所在地 隠岐の島町港町塩口84-119
電話 2-7151



●中国電力(株)隠岐営業所

一 ごみを発生させない取り組み
・文書回覧は、電子メールを活用している。
・会議資料のOHP利用により、ペーパーレス化に努めている。
二 ごみを減らす取り組み
・詰め替え可能な事務用品の取り扱いに努めている。
・両面印刷の推進



分別BOXを設置して、古紙の再資源化に努めている

三 ごみの再資源化の取り組み

・事業所内に分別BOXを設置して再資源化に努めている。
・古紙を松江に送り、島根支社でリサイクル処理している。

四 再生品の利用促進

・グリーンマーク事務用紙を積極的に購入している。
・コピートナーのリサイクル使用

●(有)魚清

(有)魚清
所在地 隠岐の島町中町目貫の三49番地
電話 2-1541



一 ごみを減らす取り組み

・取引に応じて、洗って何回でも使える回収用の弁当箱を使用している。
・使用したトレー等は洗って販売目的以外の作業用を使用している。
・古新聞は、荷物の梱包材等に利用している。
・チラシ、伝票等の裏面をメモ帳として利用している。

二 従業員への環境教育の実施

・ごみの回収や分別等、毎日指導を行っている。
三 その他の活動
・店舗入口等にポイ捨て防止の為、ごみ箱を数箇所設置している。



回収用の弁当箱を使用

なお、認定された事業所の取り組みの紹介は、隠岐の島町ホームページでもご覧いただけます。是非ご覧下さい。

申請受付中!

隠岐の島町では、認定申請を随時受け付けています。

今回認定された事業所の皆さんのように、まず、身近に出来ることから「ごみを発生させない」「ごみを減らす」取り組みに目を向けることから始めてみませんか?
具体的内容・申請方法の詳細は、隠岐の島町ホームページをご覧ください。環境課へお問い合わせ下さい。

公民館コーナー

布施公民館

4泊5日 大満寺キャンプ!

8月1日から5日まで、布施小・中学校の大満寺キャンプが行われ、小学校5年生から中学校3年生までが参加しました。布施公民館職員も5日間、一緒に参加させていただきました。

今回のキャンプでは、子どもたち同士が協力している姿が多く見られました。プログラムやレクの企画、荷物・食料の



自然観察中!
これは何の葉っぱでしょう?

分担などの事前準備や、食事などのキャンプ中の活動も班ごとに分かれて自分たちの力でこなしていました。

また、大満寺キャンプ場の自然に囲まれた環境を生かし、沢登り、自然観察、星空観察などを行い、自然に親しむことができました。キャンプ3日目には早朝登山にも出かけ、山頂から朝日を見ることができました。美しい景色に職員や子どもたちもとても感動していました。

最終日には、隠岐アルプス縦走をしました。鷲ヶ峰→神原高原→トカゲ岩→中谷ハイキングと長い山道を歩きましたが、小・中学生ともに励まし合いながら、学校まで歩ききりました。

キャンプを終えた子どもたちに疲れた表情はなく、4泊5日の日程をやり遂げた達成感からか、とても満足そうな顔をしていました。



夕食のカレー作り
煙たいけど、がんばってます。

「アンサンブル鹿島隠岐公演」が開催されました

バイオリンなどの弦楽器を中心に演奏活動を行なっている松江市の「アンサンブル鹿島」が、8月22日(火)午後8時から、五箇生涯学習センター大ホールで第1回隠岐公演を開催しました。

アンサンブル鹿島は、主に松江市近郊の小・中学生から社会人までで構成されている楽団です。

指揮者笹崎榮一氏のもと、日本の名曲5曲を含む12曲の素晴らしい演奏に、会場からは惜しみない拍手が送られました。



アンサンブル鹿島第1回隠岐公演
(於：五箇生涯学習センター)

五箇公民館

10月の講演会のお知らせ 〜家庭教育支援推進事業〜



世界的な冒険家として知られる「リヤカーマン」こと永瀬忠志氏を招いて講演会を開催いたします。

永瀬氏は、リヤカーに生活道具を乗せ、世界各地を長年かけ歩いて踏破し、2005年に植村直己冒険賞を受賞された冒険家です。

リヤカーを引き、世界各地の人々や大自然とのふれ合いをおしてえられた貴重な体験談を、ぜひこの機会にお聴きください。

『永瀬忠志氏講演会』

日時 平成18年10月7日(土)

午前9時30分～11時30分

会場 五箇生涯学習センター 大ホール
主催 隠岐の島町家庭教育推進協議会
共催 隠岐の島町小・中学校PTA連合会

土曜日 13時から18時まで
○場所 島根労働基準協会1階
松江市学園1丁目5・35

忘れないで。免許とヘルメット、そして「自賠責」

交通事故による死者数は年々減少傾向にあるものの、事故発生件数及び負傷者数については、発生件数は6年連続で90万件(平成17年度末)を超え、負傷者数は7年連続で100万人(同年末)を超えるなど、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得るさわめて深刻な状況となっています。

自賠責保険・共済は、すべての加害者の賠償責任を担保するとともに、すべての被害者の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者の保護を目的としています。

自賠責保険・共済の有効期限は切れていませんか?

自賠責保険・共済は、万一の自動車事故の際の基本的な対人賠償を目的として、原動機付き自転車を含むすべての自動車に加入が義務付けられています(自動車損害賠償保障法)。

特に、車検制度のない250cc以下のバイク(原動機付き自転車・軽二輪自動車)は、有効期限切れ、かけ忘れにご注意を!

なお、自賠責制度の詳しい内容は
<http://www.jibai.jp>をご覧ください。

し・っ・て・恩・心 お知らせ コーナー

法律トラブルに巻き込まれた時 お役に立ちます「法テラス」

日本司法支援センター「法テラス」は、法的トラブルを解決するための情報やサービスを全国どこでも受けられる

るよう、全国に50か所以上の事務所を置き、10月から以下の業務を開始します。

法的トラブルを解決するのにどのような方法があるのかわからない、どこに相談すればよいのかわからない、といったときは、「法テラス」までお気軽にお電話ください。

○情報提供
法的トラブルの解決に役立つ情報の無料提供

○民事法律扶助
資力の乏しい方のための無料相談や裁判費用などの立て替え

○地方過疎対策
弁護士がいらないなど法律サービスを受けることが難しい地域での適切な料金での法律サービスの提供

○犯罪被害者支援
被害者支援に詳しい弁護士や支援団

郵便局からのお知らせ 郵便局の待ち受け業務が 変わります!

10月16日(月)から、次の地域の郵便物の配達・取集および貯金・保険の集金事務の受持郵便局を変更しますので、お知らせします。

地域名	受持郵便局	
	現在	改正
隠岐の島町	旧西郷町	西郷局
	旧五箇村	五箇局
	旧都万村	都万局
	旧布施村および中村地区	布施局

■お問い合わせ先■

西郷郵便局	総務	2-0200	00
	郵便	2-0250	00
	貯金・保険	2-0300	00
布施郵便局		7-4300	00
五箇郵便局		5-2004	00
都万郵便局		6-2000	00

職場の問題をご相談ください 松江労働条件相談センター

職場の問題に関するさまざまなご相談を無料で行っております。お仕事帰りや、土曜日にも相談できます。

○ご利用者

労働者または事業主の方からの労働条件(賃金・労働時間・解雇・セクハラ等々)に関するもの。

○ご利用方法・ご利用時間

・ご利用方法
来所または電話

(フリーダイヤル 0120-001-119)

・ご利用時間

平日 14時から20時まで

灯影

9月に遊覧5,000人を突破したローソク島。先端に夕日がともるこのシーンは晴れた日にしか見ることができません。島民でも実際に見たという方は意外と少ないはず。



ローソク島遊覧5,000人達成

旧五箇村時代から数えて就航4年目を迎えるローソク島遊覧船「しやくなげ号」が、9月7日（木）ついに乗客数5,000人を突破、この日の出航前に記念式典が行われました。

記念すべき5,000人目となったのは大阪府枚方市の安芸雅敏さん。ローソク島の写真パネルや隠岐の特産品が贈られました。ローソク島は隠岐の代表的な観光地の一つとして古くから親しまれてきましたが、ローソク島遊覧専門の船は平成15年に初めて就航。以来、年々乗客は増え、5,000人を達成しました。

今年は10月末まで運航していますので、まだ乗ったことがない人はぜひローソク島に灯がともるシーンを体験してみてください。



パネルなどの記念品を手にニコリ

総合誌隠岐の島10月号

(通算第24号)

■編集・発行

隠岐の島町役場総務課広報広聴係

〒685-8585

島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地

TEL(08512)2-2111 (代表)

FAX(08512)2-6005

■ホームページ

<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>

■Eメール

jouhou@town.okinoshima.shimane.jp

一・月・一・話

昨年から五箇に棲みついているコウノトリですが、もうすぐ1年になるということ、コウノトリ講演会が開催されました(5ページ参照)。コウノトリ(厳密には近縁種のシユバシコウ)はヨーロッパでは「幸せを運ぶ鳥」とされ、クチバシに赤ん坊を下げて運んでくるという言い伝えがあります。

この講演会は9月4日に開催されましたが、図らずも2日後の9月6日、秋篠宮妃紀子さまが男児をご出産されたというニュースが報じられました。講演会でも秋篠宮ご夫妻がコウノトリの放鳥式にご出席されたという話題が出ていて、これは隠岐の島町にとっても吉兆だ、となんとなく嬉しくなっています。

今月号では発表できませんでしたが、9月初めから五箇のコウノトリの名前を募集しました。時節柄、皇室ゆかりの名前も多く応募されているとのこと。決定し次第、町のホームページ、また広報10月号で発表します。お楽しみに！

(安)